

末梢静脈カテーテルの固定方法

3M™ テガダーム™ I.V. トランスペアレント ドレッシング 1633を使用

3つのポイント

- 接続部分が切り込みから出るように位置を合わせる
- フィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させる
- フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付する

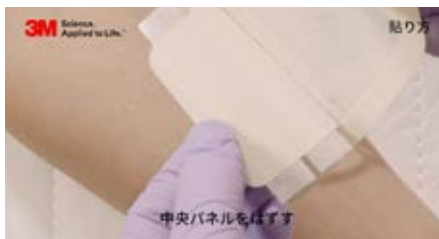


動画（使用方法）のキャプチャー画像を掲載した資料です。
動画の視聴とあわせてご活用ください。

動画公開ページ：<http://go.3M.com/medical/piv1633/>（再生時間：2分21秒）



貼り方



- 1** 中央パネルをはずして窓を開けます。中央パネルは付属の2本のテープをつけたまま、清潔な所に置いておきます。



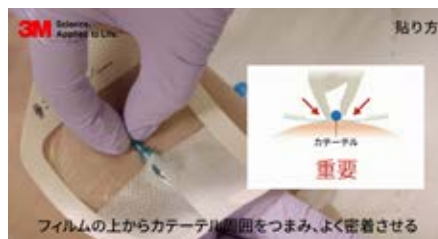
- 2** 印刷のあるライナー紙を剥がし、粘着面を出します。



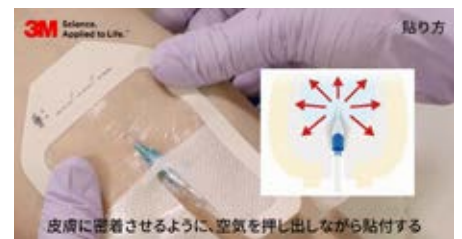
- 3** 粘着剤のない部分を持ち、



- 4** 接続部分が切り込みから出るように位置を合せます。片手でフィルムをそらせて持つと、しわになりにくいです。



- 5** フィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させます。固定力を上げるために必ず実施してください。



- 6** フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付します。



- 7** 切り込み部分をカテーテルの下で沿わせるように貼付します。無理に重ね合わせる必要はありません。



- 8** 周囲をしっかりと密着させ、全体を貼付した後、フィルム部分を押しえながら、ゆっくりとフレーム部分を剥がします。



- 9** 付属の1本目の固定用テープを接続部分の下に固定します。



10 付属の2本目の固定用テープでさらに上からルートを固定します。



11 付属の記録用ラベルに日付などを記入して、



12 観察の妨げにならない位置に貼付します。



【参考】

医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) の対策として、接続部分に別売りの3M™ マイクロフォーム™ サージカルテープなどのクッション材を使用することもできます。

剥がし方



1 補強のテープ類や固定用テープを剥がします。手袋をはめた指の腹でなできるようにすると剥がしやすくなります。



2 切り込み部分を片方ずつ押さえながらゆっくりと剥がします。



3 片手でカテーテルを押さえながら、残りの部分を約180度に折り返し、ゆっくりと剥がします。

※ 本資料は使用方法の一例であり、本品およびチューブ等の取扱説明書をご確認の上、個々の患者背景及び状態を含めた医師の総合的なご判断のもとで、固定方法をご検討ください。

販売名:テガダーム I.V. トランスベアレントドレッシング 届出番号:13B1X10109000128

3M、テガダーム、マイクロフォームは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

医療用製品事業部

<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2019. All Rights Reserved.
CAPT-052-A

2019年3月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます